

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 104-0053
 住 所 東京都中央区晴海1-8-8晴海 トリトスカイ7棟19階
 氏 名 東洋埠頭株式会社 取締役社長 三浦 等 印
 (代理人)取締役執行役員 原 秀敏
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	東洋埠頭(株)		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区扇町13-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	47	倉庫業
主たる事業 の内容	倉庫業・港湾運送業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		4,220 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	管理部庶務課
		所在地	川崎市川崎区扇町13番1
		電話番号	044-355-5661
		FAX番号	044-333-5770
		メールアドレス	kawasak1@toyofuto.co.jp
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成23年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 7,307 t-CO ₂ (調) 5,923	(実) 7,268 t-CO ₂ (調) 5,899	(実) 7,327 t-CO ₂ (調) 5,979	(実) t-CO ₂ (調)	(実) 7,234 t-CO ₂ (調)
削減率		(実) 0.5 % (調) 0.4	(実) -0.3 % (調) -0.9	(実) % (調)	(実) 1.0 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値		0			
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	川崎支店では、取扱量が増え温室効果ガスが増えたが、大型変圧器2,500KVA、300KVA、150KVAをトッランナー変圧器に更新し、保管庫では貨物を集約した。又、東扇島支店では、21年度に全庫の照明をLEDに交換したことで温室効果ガスが減り、全体でほぼ横ばいとなった。
第2年度	昼休みの1時間シフト、デマンド管理でピークシフト、倉庫の扉開閉管理を強化したことで、川崎支店の全電力と東扇島支店の昼間電力を減らした。しかしながら貨物取扱量増加により東扇島支店の夜間電力及び両支店の軽油量が増えて、全体でCO ₂ は若干増となった。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○省エネ推進体制の整備 ○照明設備の運用管理 ○受変電所の保守点検 ○事務所機器の管理
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○省エネ推進体制の整備 本社・川崎支店の推進体制を整備し、川崎支店ではグリーン経営認証制度を取得した。 ○照明設備の運用管理 サイロ機械棟内の照明をLEDに変更(66台)、各事務所の蛍光灯の間引きを実施した。 ○受変電所の保守点検 サイロ変電所の高圧受電盤更新、配電盤の更新を実施した。 ○事務所機器の管理 パソコンは節電モードを徹底させ、席を離れる時は画面を消すようにした。
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○省エネ推進体制の整備 川崎支店の推進体制を整備し、川崎支店ではグリーン経営認証制度の再審査を受け(2011年10月)認証を得た。 ○照明設備の運用管理 サイロ機械棟内の照明を51台LEDに変更した。 ○受変電所の保守点検 サイロ変電所の高圧受電盤更新、配電盤の更新を実施した。 ○事務所機器の管理 パソコンは節電モードを徹底させ、席を離れる時は画面を消すようにした。
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ol style="list-style-type: none">1. 川崎温暖化対策推進会議への参加2. グリーン経営認証制度を取得し、第三者による省エネ対策の取り組みをチェックさせる。3. エコマーク製品などを優先的に購入する4. 不必要な照明の消灯を徹底する5. 分別回収ボックスを設置し分別回収に努める
第1年度	<ol style="list-style-type: none">1. グリーン経営認証制度を取得した。2. エコマーク製品（特にコピー用紙）購入した。3. 不必要な照明の消灯（構内・サイロ下）を徹底した。4. 各課に分別回収ボックスを設置し分別回収に努め、分別保管するようにした。
第2年度	<ol style="list-style-type: none">1. グリーン経営認証制度1年目の審査を受け認証を得た。2. エコマーク製品（特にコピー用紙）購入した。3. 不必要な照明の消灯（構内・サイロ下）を徹底した。4. 各課に分別回収ボックスを設置し分別回収に努め、分別保管するようにした。
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	6,652	t-CO ₂
(調)	6,638	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
東洋埠頭(株)川崎支店	川崎区扇町13-1	4711	倉庫業	4,677 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
東洋埠頭(株)東扇島支店	川崎区東扇島27-1	4721	冷蔵倉庫業	1,975 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--